

(株)太陽設備 徳山専務

令和2年3月2日

コミュニティひばり会長

松原 孝彦

3月5日には以下の質問に回答を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

1. 我々が入手した、貴社の「宝塚市花屋敷地質調査レポート」の設計・施工上の留意点に  
“盛土計画部では、GL-5.9~7.35mまでN値がN=2~7とルーズな砂質土及び礫質土からなる河床堆積物層が分布し、この下位に凝灰質泥岩がある。盛土をした場合、支持力不足ですべりが発生する可能性があることから慎重に検討が必要”としています。  
この、すべり発生防止対策はどのように検討されましたか、また、その検討結果をどのように盛土施工に反映されていますか。
2. パネル下は種子吹付と聞いていますが、雨水浸透による土砂流出・崩壊・発火・森林火災等の発生危険性についてどのように検討されましたか。
3. ソーラーパネルを地面に固定する基礎部支持杭仕様は、スクリュー杭かコンクリート基礎付き支持杭のどちらを採用されていますか。
4. ソーラーパネルの耐風速 36m/s と聞いていますが、昨今の気象状況を考え、更なる強度の引上げまたは暴風対策は可能ですか。
5. 2月11日セトウチサンショウウオ（県絶滅危惧種Bランク）が確認され、その行動範囲はヒョウタン池から半径 100~300m とされます。この生息環境保全対策について。 また貴事業地内の緑化対策、特に「きずきの広場」への外来種飛散防止対策について。
6. 新たに保険に入られると聞いていますが、その仔細について。

以上

# 回 答 書

令和元年 3月5日

## 1. に対する回答

土質調査結果により、約7.0m程度の堆積層が確認されました。

計画盛土の基礎地盤として使用するには地盤の強度が不足しているため

地盤改良(柱状改良)により所定の強度を確保する計画です。

堆積層 下位の凝灰質泥岩は岩片～礫状コアを呈するCL級岩盤及びCL～CM級岩盤が主体であるが、一部、節理(規則性のある割目)・亀裂が発達する部分が認められる。

そのN値は概ね50以上を示し、非常に硬質である(D～CL級岩盤)。

大規模な断層や破碎帯(岩盤が細かく砕かれたり、粘土化が著しい部分)は今回のボーリング調査では確認されませんでした。

調査結果を踏まえ計画盛土の安定検討を実施し、第三者機関にて審査を受けていますので審査書を提出させていただきます。

## 2. に対する回答

土砂流出及び崩壊に対して以下に配慮致しました。

- ・パネル下の種子吹付
- ・盛土内への雨水浸透を最小限とするためパネルエリアに20%の勾配を確保(表面排水でなるべく処理)
- ・盛土内へ浸透した水が適切に排水されるよう水平排水材、暗渠排水管を設置
- ・盛土内にふとん籠堰堤を構築

発火・森林火災等について

- ・集中管理室においてモニタリングによる日常管理および不良箇所の早期発見
- ・自社のメンテナンス会社による早期対応が可能
- ・定期メンテナンスの実施により不良箇所の目視確認および維持管理
- ・1号調整池の有効活用(防火用水池として消防署と協議済)

## 3. に対する回答

- ・スクリー杭を使用します。

長さ=2000mm    口径=76mm    厚さ=3mm  
(杭図面にて説明)

- ・施工管理として杭の引き抜き試験を行い所定の強度を得ます。

4. に対する回答

- ・基準風速としては34mの地域ですがワンランク上げて36mに仕様変更しております。  
(基準風速一覧表にて説明)

5. に対する回答

- ・計画事業においては各課または関係機関と協議し適切に計画をすすめてまいりましたので所定の要件は満たしていると判断しております。
- ・生息環境保全対策については公園河川課と直接ご協議ください。
- ・外来種飛散防止対策については対応できません。

6. に対する回答

- ・新保険パンフレットの配布および保険内容の説明をさせていただきます。

①  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫  
⑬  
⑭  
⑮  
⑯  
⑰  
⑱  
⑲  
⑳  
㉑  
㉒  
㉓  
㉔  
㉕  
㉖  
㉗  
㉘  
㉙  
㉚  
㉛  
㉜  
㉝  
㉞  
㉟  
㊱  
㊲  
㊳  
㊴  
㊵  
㊶  
㊷  
㊸  
㊹  
㊺  
㊻  
㊼  
㊽  
㊾  
㊿